

平成廿四年三月廿五日

研究資料

第五号

Version 1.0

須佐御土史研究会

東京部会

# 序文

## プロジェクトの経緯

須佐市中細見図の電子化の構想は2006年7月に私達がHPを立ち上げた頃から始まりました。

2007年1月23日東京大学資料編纂室に招かれて、同所が保管している益田家文書などを拝見した後の懇談会でこの構想をお話したところ、東大でも同じ事を検討中だとの話が出ました。それなら我々が協力して東大のCADを駆使して制作すれば遙かに良い物が出来る筈だと考えました。

そこで、最初に検討した事は、現代地図の上に「須佐市中細見図」を再現する場合に、そのテンプレートとしてどういう現代地図を利用すれば良いのかという事でした。萩市の許可を得て地籍集成図を利用すれば著作権の問題を起さなくて済むという事になり、申請して許可を得ました。所が、東大の人事異動があり、担当教授が退職されて仕舞ったので、東大とのコラボレーションは白紙に戻りました。

そうなれば、我々がPCで自力制作するしかない。しかし、当時の東京須佐史談会文の手では、この構想は推進不可能でどうしても須佐郷土史研究会との共同作業が不可欠でした。2008年9月、東京須佐史談会が第百回例会を開いた事を記念して、会員一同で須佐を訪問し、須佐郷土史研究会の皆さんと交流を深めました。懇談会の席上、この構想を共同で推進しないかと持ちかけたところ、異義なく賛同が得られ、ここに「須佐市中細見図」を須佐・東京双方の協力で推進しようと言う基本的な合意が成立しました。その後、2008年6月頃から、先ずどういふ手順で推進するかについて意見交換がありました。概ね次のようなやり方で進めました。

PCを使って地図を電子化する作業は東京側が担当する。

ソフトウェアは ILLUSTRATOR を用いる。

地籍集成図の使用許可は須佐側が萩市に申請し許可を取得する。

地籍集成図2枚を電子的につなぎ合わせ、そのどの部分をテンプレートとして採用するかを須佐・東京間で協議・決定しました(2010年5月)。

以上でPCの作業に着手出来る環境が整いましたので、最初に下準備として等高線や海、河川、道路を描く作業に着手しました。2010年7月28日、須佐の花火大会に参加した近藤氏と私の2人が須佐郷土史研究会の方々に、作業の手順を説明し、A3用紙9枚に印刷したテンプレートと東大が撮影した同じサイズの古地図(近藤版)を持参して意見交換しました。

この会合の結果を踏まえて、須佐側では須佐歴史民俗資料館が保有する「須佐市中細見図」(以下「原典」と呼ぶ)に書き込まれている文字の読解作業を推進されました。東京側は専らILLUSTRATORによる描画作業を推進しました。

(栗山)

所が2011年4月、須佐公民館の人事異動があり、須佐側で本プロジェクトを推進されていた2人の職員が退職され、計画の推進が頓挫することになりました。約一年の間、須佐―東京間の連絡が満足に取れない事態が続きましたが、同年暮れに西村会長が上京され計画の継続が再確認されました2012年に入り、漸く須佐と東京のPC入力が繋がる様になり、作業が再開され3月中旬に漸く最初のPC入力作業が終わり、茲に紆余曲折を経て校正作業に必要な「叩き台」(VERSION 0.7)が出来上がった次第です。

#### 今後の進め方

この「研究資料」5では、今後校正、編集を進める為に、これまでの準備作業の結果浮かび上がった検討事項を列挙しています。皆様の英知を集めて地図を完成させ、出版へと前進したいと思えます。

最も大切なことは、須佐と東京都が共同して推進する為には、お互いの意見の違いを尊重い合いながら、実務を推進するにはどのような手法が最適かを忌憚なく論じることです。これなくして進歩はありません。

その中で、最初に決めなければならないことは「底本」と「凡例」で

す。詳細は後述しますが、理想や観念論ではなく、実務に即した最適の結論が得られる様に議論をして下さるようお願いします。

# 目次

序文	……	1頁
本文	……	4頁
地図の配色表	……	12頁
読解比較表（原典と近藤版）	……	13頁

## 基本方針について

基本方針は大別して「底本」と「凡例」に関する事です。

### 一、底本の決定

「須佐市中細見図」は須佐歴史民俗資料館が保有するもの(原典)と、近藤安弘氏が保有されているもの(近藤版)の二つが知られています。その外に、山根丁在住の小原家(歯科医)が第3の地図を所蔵して居られるとの事です。

これらの地図の内、どれを底本として電子化するかは、このプロジェクトの最重要基本方針で最初に決定しなければ後の作業が出来ません。

第一の着眼点は、写本の近藤版よりも、やはり原典を底本とすべきではないかということです。その理由は単純に須佐歴史民俗資料館所蔵のほうが権威があるという事ではなく、下記の近藤版と原典との違いに着目して下さい。

(1) 浦東の恵比寿の北側にある住居の所に「此下十  
二屋敷四畝廿七步津田潤平抱三介分暫時御借上  
ケ」と表記されていますが、近藤版ではその海側  
の住居が無記名になっています。原典には「兼吉、  
百合吉、源右衛門、末松、五郎、長平、利介、  
市二郎」と記されています。

(2) 近藤版では紹孝寺横の「伊勢田」が書かれて  
いません

(3) 中津の大谷文介の土地2枚が近藤版では書か  
れていません

(4) これは、近藤版の筆者による書き落しだろうと  
思われ、近藤版は原典を写したものと推定して間  
違いないと思います。

(5) 近藤版には「須佐市中細見図」と題が書かれて  
います。これに対して原典は無題です。上記(4)  
の推定が正しければ、この標題は後で追記された  
ものと推定されます。原典を底本とするときに  
は、この標題を付けるか付けないかも検討する必  
要があります。

第二は我々の成果物を「印刷物にする」場合には、底本  
とする地図の細部まで判読可能な質の良い一枚物の写  
真が不可欠だということです。

原典の弱点は現時点では、良質の写真が無い事です。  
一方、近藤版は東大史料編纂室が撮影した非常に良い

写真があります。

ところで、本年2月山口県史編纂室（近世担当専門研究員 河本福美氏）から電話で「須佐市中細見図」について問い合わせがあり、近く出版する山口県史 資料編近世6に多数の益田家文書を収録する。その中に、「須佐市中細見図」も加えたいとの話がありました。印刷用の写真は既に須佐で撮影済みと伺いました。そう言う事なら、山口県庁からその画像データを取り寄せ、我々の成果物を出版するときに使わせて貰えば良いではないかと思えます。許可が得られないでしょうか。

その折衝が不首尾に終わったときには、我々自身の手で原典の写真撮影をしましょう。須佐側が撮影出来ない時は、東京から撮影機材を車に積んで須佐へ出掛け、撮影する事も検討する必要がありますでしょう。そこまで努力しても、なお結果が芳しくないときは近藤版で行くしかないと思います。

何れにしても、底本を原典と決定する為にはその写真がどうしても必要です。

## 二、 凡例について

### イ。 図面の凡例

地図を電子化する場合、どういつ事を約束事としてルール化する必要があるでしょうか。案を書き出してみますから、検討して取捨選択して下さい。

成果物をA3用紙9枚に印刷出力することを前提として設計した。

使用ソフトはAdobe社のIllustrator

画像データの原寸はA3とする。色彩の定義（別表参照）

印刷を念頭に入れCMYKで定義する。

描線

区画線（住居、土地）は0.1pt、黒色。

原典に描かれていない要素の採用

「現代地図（地籍集成図）の上に古地図を再現するとどうなるか」という命題であれば、古地図通りに再現する丈でなく、古地図にはない等高線やイラストを書き込んで判りやすく表現することは許されるべきではないでしょうか。

現在採用している項目は次の通りです。

\* 「須佐市中細見図」のタイトル

\* 凡例

\* 等高線

\* 札幌、木戸のイラスト

\* 公共施設の敷地を目立つように黄色に着色

\* 松原、本町、河原丁、山根丁、横屋丁…などの

行政区画とその名称

古地図通りに再現していない要素

次の点をどう考えるか議論して下さい。

\* 等高線を採用した結果、山の色彩は古地図の通り

り（鼠色）表現出来ない

\* 寺社の敷地をピンクに変えてみました。古地図は赤です。（赤はコントラストがきついで薄

くした)可否の「意見を願います。

### 三 「須佐市中細見図」の作成時期について

『この地図は江戸時代の「須佐市中細見図」を現代の地籍集成図の上に電子的に再現したものです。』という説明文を付けています。

「江戸時代の」という部分を「江戸時代末期」とするかどうか、そのほかもつと良い表現があれば提案して下さい。

天保12(1841)年に萩藩が「風土注進案」を編纂した時に、益田家報告に添付して提出された地図が「須佐市中細見図」であるとの言い伝えがあたので、その様にHPに記載したところ、その真否について上記の様に山口県史編纂室から問い合わせを受けました。しかし、「天保12年」説には確かな根拠が見つからないので、この地図の説明文には採用致しません。

地図が作成された時期については、古地図の須佐川河口部分に「朱引屋敷之分文政四巳年七月大洪水之節流失」と記載されている事から文政4(1821)年以降に作成された事文は間違いありません。

また、地図全体に書き込まれた益田家中の氏名からも「江戸末期」の作であることは間違いありません。私事に亘り恐縮ですが、例えば私の先祖である栗山翁輔(文化7)明治5、(の名前が横屋丁に書き込まれています。彼が家督を継いだのは文化10年7月の

時の事ですから、時代は江戸末期です。しかし「天保12年」の裏付けにはなりません。

## 描画上の問題点

現代地図の上をTRACEして気付いた点が幾つかあります。作図結果の妥当性に繋がる問題ですから、皆様のご意見を聞きたいと思えます。

須佐では多くの土地区画(住居、田畠など)が江戸末期の往時そのままの形で現在に痕跡を留めている事が判りました。古地図の絵図は意外にも正確である事に驚かされます。因みに、伊能忠敬が最初に防長両国の海岸を測量したのは文化3年4月4日から6月6日までで、その後同8年に両国内を測量しましたので、その成果が「須佐市中細見図」にも反映されているのではないかと思われれます。

しかし、往時の地形は洪水など転変地変による災害や、埋め立て、開発(鉄道・道路建設、港湾工事、河川改修など)、土地登記の合筆・分割などによって大きく変化した箇所があります。今回、作図上問題となったのはこうして地形が変化した部分です。

## 一 往時の海岸線の推定

海岸線は全部推定で描くほかありませんでした。

下準備段階で描いた海岸線は次の部分を修正しました。

\* 浦東の恵比寿の前の海岸を北に拡大。

\* 鵜の瀬、横瀬の大きさを1/2に縮小。

描かれている海岸線の中で、検証が必要と思われるのは次の場所です。

\* 水海の湾はもっと奥へ切れ込んでいたのではないでしょうが。古地図では仁保嘉内の屋敷裏が海岸になっているので、現代地図の水海480番地付近の津田川に架かっている橋の辺りが往時の海岸線ではないかと思量されます。西村先会長がこの付近の地質を知悉して居られるのではないかと思えますのでお尋ねします。もしそれでも判らなければ、あの付近で建物の基礎工事をした業者とか井戸を掘った人に聞けば、下が砂地かどうか判るのではないのでしょうか。

## 二 中津付近の川筋

中津付近で須佐川本流に注ぐ2つの支流の流れは大きく変化したのではないのでしょうか。

中津で注いでいる支流（現在の「      」線路と国道の間、中津4500番地を流れている川）の川筋が変化していると思いません。

笠松神社の前の国道は昔の川筋に沿って建設されたのではなく、元の川筋はもっと山側へ大きく湾曲していたと思われる。

れます。御茶屋付近とその前の橋を渡った正面の土地は、この推測に基づいて描きました。（脚注参照）

## 三 須佐駅周辺と国道191号線

駅周辺と「      」の線路、国道191号線などが建設された場所は、昔の境界線の痕跡が無くなり、推測で描画しました。

## 四 土地の面積表記と描画面積について

土地の面積表記と描画結果が整合しない場所が沢山あります。

特に顕著な場所は河原町南側の山地にある畠ですが、外にも沢山あります。

その解釈について

\* 江戸時代の地図は測量に基づく絵図ではないから、元々不正確で気にする必要はない。

\* 広い土地の中に畠が三畝あったという様なケースもあつたのではないが。

\* 本藩へ地図を提出するに当り、年貢の徴収を軽く押さえる為に、開発した畠などの面積を故意に小さく表記したのではないか（現代地図の面積が表記面積に比べ大きすぎるケースについて）など、色々な見解が出されています。

## 五 その他

その他、現代地図の上でTRACEが難しかったのは、河

【注】川筋を湾曲させないとお茶屋前川向こうの中津の住宅地域は描くことが出来ません。



原丁の南側の山地に付けられた山道です。どれが往時の道なのか、須佐に生まれ育ち子供時代から海や山を駆け回った経験がある方なら、土地勘で判るのですが、図上判断に苦しみました。

## 読解上の諸問題

読解で一番の問題は毛筆の「字が小さい」為に判読が難しい事でした。以下に読解に関する諸問題を列挙します。

### 一 原典と近藤版の読解

須佐側は原典を、東京側は近藤版を読解しました。成果物を編集し印刷する段階では、底本を決め、どちらかに統一する必要があります。上述の通り、原典の写真が入手できるかどうかにより方針を決めましょう。

東京側が作図に専念している間に、須佐側が先に読解作業を終えられ、その結果を一覧表形式にまとめられました。今回、東京側が作成したVERSION 0.7は、須佐の一覧表を参考にしながら、近藤版に基づいて作成しています。従って、読解結果が食い違う個所が可成りあります。食い違いの理由は

\* 夫々の古地図が異なった文字を使用している、

(例) 恵比寿と恵美須

\* どちらかが誤読

\* 凡例の違い

今回、須佐が作成された一覧表を利用して、この研究資料の末尾に食い違いの対比表を添付しました。

当然「どちらを基準にして校正するのか」という質問が出ます。須佐サイドは原典で、東京サイドは近藤版で、別々に校正しましょう。両方を仕上げたて置けば、最後に最終版を作成する時は僅かな手間で簡単に修正出来ると思います。

### 二 読解作業の問題

実際の読解作業で難渋したのは氏名の判読です。通常の文書ならそれほど判別に苦労しない筈が、字が小さいために非常に困難が伴いました。図らずも「右衛門」、「左衛門」、「兵衛」、「蔵」、「郎」、「分」などの判読の練習となりました。

以下、教科書から抜粋します。(出典「用字用語 古文書の読み方」若尾俊平著 柏書房刊)

土地の面積

段はほとんど反の字をあてている。

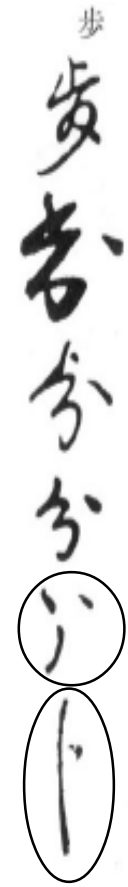
段

又反又

畝は偏の部分のナベプタが省略されるのがふつうである。

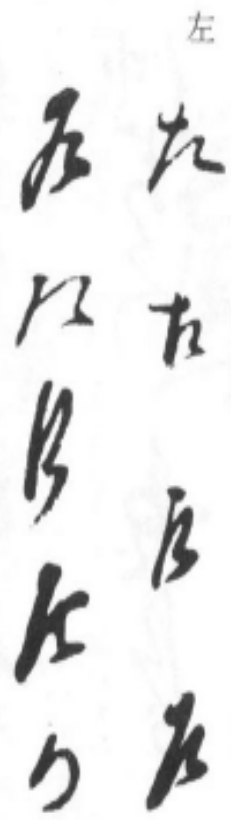
畝  


歩の字は、くずしも音も通じる分の字をあてることがある。分はひどくくずれると、平仮名の「ら」、さらに片仮名の「ト」に近くなる。

歩  


人名

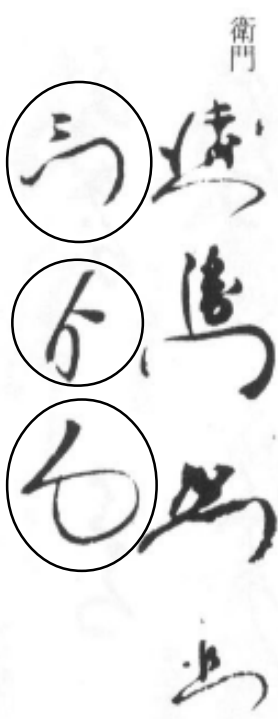
【左衛門・右衛門】右と左は、いずれも第一画を横棒から書いていたので、両者の見分けはもっぱら口と工の部分による。口をくずすと、横に二つ点を打つ形に近くなり、この二つの点をむすぶ横線が強調されてくる。一方、工をくずすと、たてに二つ点を打つ形に近くなり、この二つの点をむすぶたて線が強調されてきて、これが見分けをつけるひとつの目安となる。

左  


右

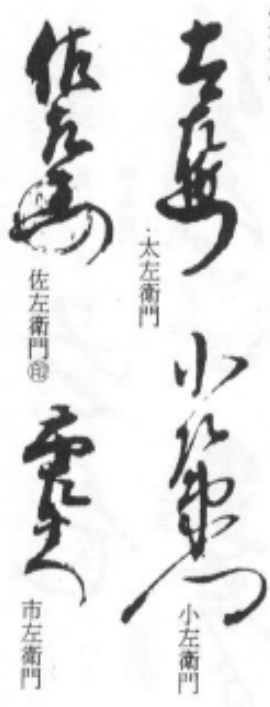
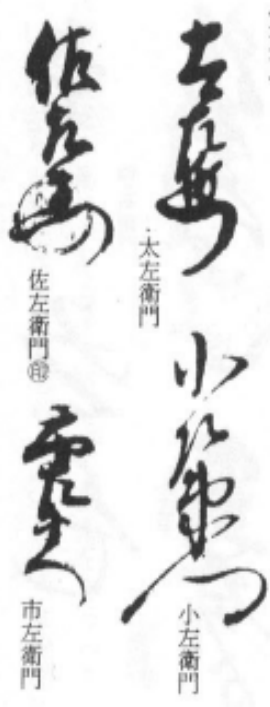
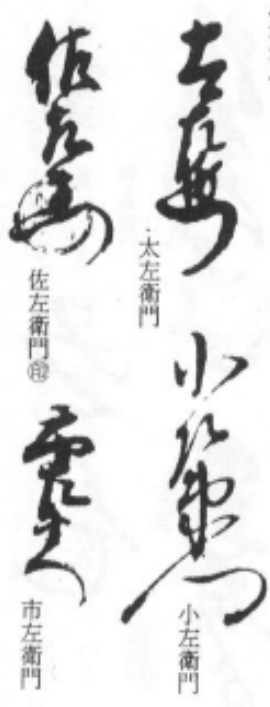
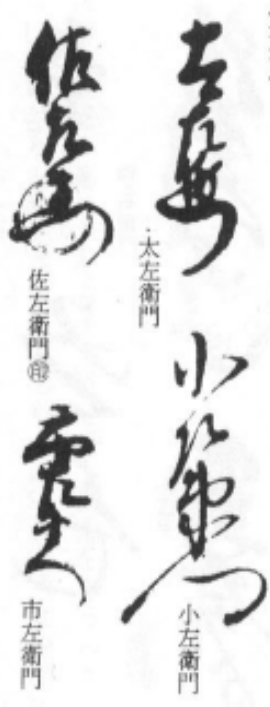
右  


衛門の部分は、まず門が大きく平仮名の「つ」に近いかたちとなり、これが衛門をあらわす記号的な役割りを果たすようになって、衛の字の方は簡略化されることが多い。さらに左・右と門とを結ぶ線の途中に点をひとつ打ったり、これすらも省略したりするようになる。

衛門  


左衛門の場合は、いくら省略しても「左」の字は必ず書かれるが、右衛門となると、極端に省略して、右すら消えてしまう場合もある。

▲演習▼

太左衛門  
  
 小左衛門  
  
 佐左衛門  
  
 市左衛門  


【兵衛】兵衛は衛の字を大きく書いて、兵衛をあらわす記号的な役割りをはたさせ、どちらかというとは兵は簡略化されることが多い。

衛のくずしは二種類ある。ひとつは行「ぎょうがまえ」の右半分を、次のようにくずしたところから出たものである。

二丁 ↓ 〇

もうひとつは、ぎょうがまえを一本のたて線であらわす形(イ)から生まれたもので、やがてこのたて線をあとから書くようになり(ロ)、これがさらに点となって(ハ)、下にさがったもの(ニ)が第二のタイプのものである。

衛を平仮名の「へ」であらわすこともある。

【郎】郎の字は、くずれると良のくずしと見分けがつかなくなる。実際、良の字を郎のかわりに用いることもある。平仮名の「ら」は良がくずれて出たもので、郎もほとんど「ら」のように書かれる場合もある。

郎

【藏】二列目と三列目は、くずしとしてはほとんど同じだが、筆の最後を内側に巻くか、外にはねて点を打つかの違いで、かなり異った印象を与える。

### 三 凡例

凡例は通常の古文書と同様ですが、須佐市中細見図の為に必要な特別ルールは次の通りです。

「瀬尻組」「須佐地組」「宇谷組」「市丸組」の所謂4組の「組」の字は「与」と書かれています。電子化データでは組名の「与」は「組」と読解する。

その他は原典通りに表記する。

「大八」(大場)、「大力」(大賀)、「札八」(札場)など。(試みに、浦中の札場の所に「札八(場)」と書いてみました。が余り良いとは思いません。)(内のように表記するか)(内の様にするか何れかです。)(脚注参照)  
判読不能の文字は で表わす。

### 四 その他

文字データ入力時の font size は標準を 3 point とし、スペース次第で 6 point 迄の文字を使用する。但し、住居が建てこんでいる浦はやむなく 2.5 point とした。

## 今後の進め方

今後の進め方の手順をどうすればよいか。

以上

### 原典の写真入手

- 二 凡例の協議( 同上 )
- 三 それと平行して校正作業推進  
須佐は原典を底本として  
東京は近藤版を底本として

## 第二段階の作業目標案

12月未まで

- 一 編集作業  
印刷を前提として  
底本確定  
凡例確定(ルールを統一)  
印刷仕様協議・確定(体裁、部数など)  
最終入稿原稿作成。解説文が必要。
- 二 専門家の監修を依頼出来るか  
駄目ならどうするか(秋市博物館とか教育委員会などから何等かの後援を得られるか)
- 三 頒布の方針決定  
有料出版物か  
非売品か

- 一 底本の協議(連絡・協議を継続)
- ## 第二段階の作業目標案
- 9月頃まで

(注)宛字を全て正字で表記しようとする、例えば「反」を全て「段」に書き換えるが如き極端な事が起こる。従って、正字に直す場合は片仮名の宛字の場合に限り、後は原典通りに表記すべきだと考えます。

## 地図の配色(CMYK)

単位 = (%)

項目	小項目	色			
		C	M	Y	K
海、川、池、溝		85	0	10	0
田井土手		50	5	40	5
道路		5	30	100	0
寺社		0	30	0	0
畠		0	40	50	0
橋		0	100	0	0
山	0 ~ 10	10	0	30	0
	11 ~ 20	10	0	40	0
	21 ~ 30	20	0	30	0
	31 ~ 40	30	0	40	0
	41 ~ 50	40	0	50	0
	51 ~ 60	50	0	60	0
	61 ~ 70	60	0	70	0
	71 ~ 80	70	0	80	0
	81 ~ 90	80	0	90	0
	91 ~ 100	90	0	100	0
	101 ~ 110	100	10	100	0
	111 ~ 120	100	20	100	0
	121 ~ 130	80	30	80	15
	131 ~ 140	90	30	90	15
	141 ~ 150	100	30	100	15
	151 ~ 160	100	40	100	15
	161 ~ 170	100	50	100	20
171 ~ 180	100	60	100	30	
181 ~ 190	100	80	50	30	
191 ~ 200	100	90	60	40	
公共施設		0	0	100	0
惣門、礼場	屋根	60	20	0	0
	柱	30	10	50	20
寺社	壁	4	94	93	0
	屋根	62	21	3	0
	庇	26	13	10	1
一里塚		30	10	0	0

須佐市中細見図873(松原)

ブロックNo.	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
1	25		四畝十一歩	品川武助	白		「ノ」は不要(近藤版)
1	26		四畝廿歩	御馬屋九郎左衛門	白		
1	27		七畝廿歩	荻野直左衛門	白		
1	28		一畝十五歩	弥五治	白		
1	29	畠	一畝十四歩	大谷治左衛門	白		
1	30	畠	一畝十五歩	入江長屋七右衛門	白		
1	31	畠	二畝廿歩	村岡秀太郎	白		
1	32	畠	三畝	村岡秀太郎	白		
1	33	畠	一畝十歩	村岡秀太郎	白		
1	34	田	二畝十一歩	村岡秀太郎	白		
1	35		五畝	御臺所ノ文左衛門	白		
1	36	畠	一反一畝十二歩	金子丹治	白		
1	37		五畝十八歩	大蓋寺	白		
7	107		十二歩	藤左衛門	白		
7	108		一畝	弥三右衛門	白		
7	109		十二歩	弥三右衛門	白		
7	110		廿八歩	市郎右衛門	白		
7	111		六歩	市郎右衛門	白		
7	112		一畝九歩	桑原幸八	白		
7	113		一畝十八歩	宮内左衛門	白		
7	114		一畝十二歩	大谷次左衛門	白		
7	115			仲井速水	白		
7	116			仲井速水	白		
8	117		一畝十二歩	田中惣右衛門	白		「与(くみ)は「組」の字に置換える
8	118		三畝十歩	市丸与市左衛門	白		
8	119		五畝七歩	御馬屋ノ左之介	白		
8	120		四畝十八歩	須佐地与三左衛門	白		
8	121		五畝十五歩	宇谷与常左衛門	白		
8	122			宇谷与常左衛門	白		
8	123		六畝廿九歩	増野伊兵衛	白		
8	124			増野伊兵衛	白		
9	125		四畝廿八歩	御馬屋ノ吉右衛門	白		「与(くみ)は「組」の字に置換える
9	126			御馬屋ノ吉右衛門	白		
9	127		四畝九歩	須佐地与茂左衛門	白		
9	128			須佐地与茂左衛門	白		
9	129		四畝十二歩	瀬尻与利三左衛門	白		
9	130			瀬尻与利三左衛門	白		
9	131		四畝一歩	内田小左衛門	白		
9	132			内田小左衛門	白		
9	133		二畝十歩	御馬屋十郎右衛門	白		
9	134		二畝十六歩	須佐地与吉右衛門	白		
9	135		四畝五歩	宇谷与与一左衛門	白		
9	136		四畝十三歩	柴田十郎右衛門	白		
9	137		四畝十二歩	有田信平	白		
9	138			有田信平	白		
9	139		六畝十一歩	瀬尻与 右衛門	白		
9	140			瀬尻与 右衛門	白		
9	141				白		
11	142		六畝廿二歩	井上熊八郎	白		「与(くみ)は「組」の字に置換える
11	143			井上熊八郎	白		
11	144		四畝廿三歩	須佐地与文右衛門	白		
11	145			須佐地与文右衛門	白		
11	146			須佐地与文右衛門	白		
11	147		四畝十歩	松野周蔵	白		
11	148			須佐地与ノ文右衛門	白		
11	149		二畝十歩	木挽 右衛門	白	忠カ	
11	150			木挽 右衛門	白	忠カ	
11	151		一畝十一歩	松永仁祇	白		
11	152	田	九歩	須佐地与文右衛門	白		
11	153	肘附			白		
11	154	的場	二畝十七歩		白		
12	155		一畝廿一歩	有福 右衛門	白		
12	156			松永仁祇	白		
12	157		四畝廿六歩	法隆寺	白		
12	158				白		
12	159		二畝廿一歩	浅村分城一 蔵	白		

ブロックNo.	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
12	160		一畝十九歩	野上安兵衛	白		「与」(くみ)は「組」の字に置換える
12	161			松永仁祇	白		
12	162	田	二畝廿歩	御馬屋ノ十郎右衛門	白		
12	163	的場			白		
12	164	田	一畝十歩		白		
12	165		二畝五歩	藤井義右衛門	白	カ	
12	166		三畝八歩	荻野直左衛門	白		
12	167		一畝廿五歩	須佐地与吉右衛門	白		
12	168		一畝九歩	浅村	白	カ	
12	169		一畝 歩	松永仁祇	白		
A	18	畠	一畝十歩	品川武助	茶		
A	19				茶		
A	20	畠	三畝十歩	御臺所権右衛門	茶		
A	21	畠	五畝廿歩	有田信平	茶		
A	22	畠	五畝十七歩	品川武助	茶		
A	23	畠	三畝十歩	荻野忠兵衛	茶		
A	24	畠	一畝十二歩	品川武助	茶		
B	1	畠	三畝	品川武助	茶	南、川の上	楊柳カ  秀太郎カ
B	2	畑		弥右衛門	茶	カ	
B	3	畠	四畝	増野揚柳	茶	カ	
B	4	畠	十五歩	増野揚柳	茶		
B	5	畠	三畝	須子常右衛門	茶		
B	6	畑		村岡齊太郎	茶		
B	7	畠	一畝十歩	桑原幸八	茶		
B	8	畠	一畝	大工喜代助	茶		
B	9	畠	三畝十歩	仁保平八	茶		
B	10	畠	二畝	浅村	茶	忠兵衛カ	
B	11	畑		村岡秀太郎	茶	カ	
B	12	畠		桑原幸八	茶		
B	13	畠	三畝十歩	桑原幸八	茶		
B	14	畠	一畝廿歩	宇野伊左衛門	茶	宅野カ	
B	15	畑		品川武助	茶		
B	16	田	二反六畝廿四歩	品川武助	緑		
B	17	田	一畝十二歩	村岡秀太郎	緑		
C	38	田	二反六歩	金子丹治	緑		
C	39	畠	一反一畝	金子丹治	茶		
C	40	畠	六畝一歩	金子丹治	茶		
D	41	畠	十五歩	宇谷与ノ常左衛門	茶		「与」(くみ)は「組」の字に置換える 「与」(くみ)は「組」の字に置換える 五畝？
D	42	畠	二畝八歩	瀬尻与利三左衛門	茶		
D	43	畠	五畝	有田信平	茶		
D	44	畑		浄蓮寺	茶		
D	45	畑			茶	藤井甚兵衛カ	
D	46	畑		御馬屋九郎左衛門	茶		
D	47	畑		市丸与市左衛門	茶		
D	48	畑		御馬屋ノ吉右衛門	茶		
D	49	畑		松原権左衛門	茶	カ	
D	50	同		御馬屋 郎	茶		
D	51	同		柴田筆吉	茶		
D	52	畑		田中七左衛門	茶	カ	
D	53	畠	三畝十七歩	柴田十郎右衛門	茶		
D	54	田	一反十五歩	瀬尻与利三左衛門	緑		「与」(くみ)は「組」の字に置換える 「与」(くみ)は「組」の字に置換える
D	55	畠	十三歩	瀬尻与利三左衛門	茶		
D	56	畠	一畝	御臺所弥七	茶		
D	57	畠	一畝	今藤宗兵衛	茶		
D	58	畠	一畝十歩	松原惣右衛門	茶		一五畝？
D	59	畠	一畝	須佐地与茂右衛門	茶		
D	60	畠		松原茂一郎	茶		
D	61	畠	廿歩	下瀬六右衛門	茶	カ	七歩？
D	62	畠	一畝	田原 左衛門	茶		
D	63			地与 右衛門	茶		
D	64	畠	一畝	町ノ甚左衛門	茶		
D	65	畠	廿歩	八右衛門	茶		
D	66	畠	廿歩	町ノ	茶		
D	67	畑		川上治五右衛門	茶		
D	68	畑		有福平左衛門	茶	カ	
E	69			竹中金右衛門	茶		「与」(くみ)は「組」の字に置換える
E	70	畑		御馬屋 郎左衛門	茶		
E	71	畑		有田信平	茶		
E	72	畑		須佐地与孫右衛門	茶		
E	73	畑		堀七兵衛	茶	カ	
F	74	田	三畝廿五歩	宅野 右衛門	緑		豪右衛門カ

ブロックNo.	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
F	75	田	一畝十歩	法隆寺	緑		豪右衛門カ
F	76	田	四畝廿九歩	法隆寺	緑		
F	77	畠	三畝	松原茂一郎	茶		
F	78	畠	六畝七歩	宅野 右衛門	茶		
F	79	畠	十五歩	茂左衛門	茶		
F	80	畠	十五歩	内田小左衛門	茶		
F	81	畠	三畝	宅野 右衛門	茶		
F	82	畠	十歩	中村	茶		
F	83	畠	十歩	法隆寺	茶		
F	84	畠		福右衛門	茶		
F	85	畠	一畝	宮内 右衛門	茶		豪右衛門カ
F	86	畠	一畝	三谷丈七	茶		
F	87	畠	一畝	松野周助	茶		
F	88	畠	畝十九歩	波田温人	茶		
F	89	畠	三畝十九歩	大谷岩尾	茶		
F	90				茶		
F	91	畑		田原弥右衛門	茶		
F	92	畑	一畝	安富三祐	茶		
F	93	田	六畝十二歩	松野周助	緑		
F	94			三谷丈七	緑		
F	95	畑		川上治五右衛門	茶		どの部分か判らず
F	96	畑	廿八歩		茶		
F	97	畑	一畝二歩	松井 次	茶		
F	98	畑	一畝	有福 右衛門	茶		
F	99			松野 左衛門	茶		
F	100	畑		松野 左衛門	茶		弥左衛門カ
F	101	畑		有福 右衛門	茶		
G	102	畠	廿歩	市丸与惣右衛門	茶		「与」(くみ)は「組」の字に置換える (近藤版には氏名記載無し) 豪右衛門では
G	103	畠	一畝	宅野 右衛門	茶		
G	104	畠	十歩	作間常右衛門	茶		
G	105	畠	四畝廿歩	今藤惣兵衛	茶		
G	106		十二歩	藤左衛門	白	南、川の下	廿五歩？



須佐市中細見図874(松原)

ブロックNo	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
1	170	田	二畝	大蓋寺隠居	緑	南、川の下	文左衛門カ
1	171	畠	三畝	大蓋寺隠居	茶		
1	172			観音堂	灰		
1	173	田	四畝六歩	御馬屋文右衛門分柴田十郎右衛門	白		
1	174	田	六畝	堀兼吉	白		
1	175	田	三畝	御馬屋吉左衛門	白		
1	176	田	一畝二歩	内田小左衛門	白		
1	177		三畝廿五歩	内田小左衛門	白		
1	178	田	廿五歩	御馬屋ノ庄助	白		
1	179		二畝五歩	御馬屋ノ庄助	白		
1	180	田	廿七歩	小田平八	白		
1	181		四畝十二歩	小田平八	白		
1	182		七畝十六歩	大塚浪江	白		
1	183				白		
1	184		二畝	友右衛門	白		
1	185		三畝	大塚浪江	白		
1	186		三畝	村岡七郎右衛門	白	七郎左衛門カ	
3	187			三原飛脚番屋敷	白		
3	188		一畝二歩	宮内左右衛門	白	カ	
3	189		三畝	御臺所孫介	白		
3	190		三畝十八歩	御臺所新右衛門	白		
3	191			野頭飛脚番屋敷	白		
4	200	畠	一畝十五歩	増野揚柳	白	カ	楊柳カ  弥五郎カ。難読。 難読 難読 難読 難読
4	201	畠	二畝五歩	大庭清右衛門	白		
4	202	畠	五畝十五歩	仲井速水	白		
4	203	畠	二畝五歩	市郎右衛門	白		
4	204	畠	一畝	三右衛門	白		
4	205	畠			白		
4	206				白		
4	207		七歩		白		
4	208	畠	十五歩	今藤	白		
4	209	畠	二畝廿四歩	波田温人	白		
4	210	畠	二畝	右衛門	白	弥五郎カ。難読。	
4	211	畠	二畝	三右衛門	白	弥五郎カ。難読。	
4	207-2		三畝十九歩		白	難読	
5	192		一畝三歩	二郎	白		
5	193		三畝	多ノ弥右衛門	白		
5	194		三畝十八歩	御馬屋ノ八左衛門	白		
5	195		七畝	柴田筆吉	白		
5	196		四畝廿五歩	藤井甚兵衛	白		
5	197		三畝十八歩	御馬屋ノ 右衛門	白		
5	198		二畝	浅村助左衛門	白		
5	199		五畝十二歩	御馬屋 右衛門	白		
10	212	田	三畝廿三歩	増野揚柳	白		楊柳カ  廿六歩カ 楊柳カ  六歩カ  「与」(くみ)は「組」の字に置換える
10	213	田	一畝二歩	仲井速水	白		
10	214		四畝十歩	御臺所ノ助右衛門	白		
10	215		六畝	品川源右衛門	白		
10	216		三畝廿七歩	野上八左衛門	白		
10	217		五畝三歩	松原	白		
10	218		四畝廿八歩	御馬屋ノ市郎左衛門	白		
10	219		壹反壹畝八歩	増野揚柳	白		
10	220		四畝	田中七左衛門	白		
10	221		二畝八歩	山谷團蔵	白		
10	222				白		
10	223		四畝	市丸与三蔵	白		
10	224		四畝八歩	緒方弥左衛門	白		
10	225		四畝廿歩	川上治五右衛門	白		
10	226		九畝十三歩	浄蓮寺	白		

須佐市中細見図876-1(本町・河原丁・横屋丁)

ブロックNo	no,	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
H	227	田	壹反五畝廿一步	松野弥三左衛門	緑	南、川の上	松野与左衛門
H	228	田	三畝二歩	松野弥三左衛門	緑		
H	229	畠	壹反三畝二歩	松野弥三左衛門	茶		松野与左衛門
H	230	畠	廿歩	松野弥三左衛門	茶		松野与左衛門
H	231	畠	壹反壹畝四歩	松原鉄之助	茶		
H	232	畠	壹畝	松野弥三左衛門	茶		松野与左衛門
I	233	畠			茶		
I	234	畠			茶		
I	235	畠			茶		
I	236	田			緑		
I	237	畠			茶		
I	238				茶		
I	239	田			緑		
30	240	田	伊勢田	紹孝寺	緑		記載無し(書き落としカ)
30	241		七畝廿四歩	紹孝寺	白		
30	242		三畝一步	紹孝寺	白		
30	243				青		
30	244				茶		
30	245				茶		
30	246				緑		
30	247				茶		
30	248				茶		
30	249				茶		
30	250				緑		
30	251				茶		
30	252	畠			茶		
30	253	田			緑		
30	254	畠			茶		
30	255	畠			茶		
30	256	畠			茶		
30	257		七畝十二歩	大谷茂樹	白		
31	258		五畝十五歩	宅野伊左衛門	白		
31	259		六畝三歩	竹内晋兵衛	白		竹内晋蔵
32	260		九畝十歩	栗山翁輔	白		
32	261		四畝十二歩		白		
32	262		七畝廿一步	荻野忠左衛門	白		
32	263		四畝十三歩	増野勝太	白		
32	264		六畝廿五歩	波田与一右衛門	白		
32	265		三畝一步	田根重蔵	白		
32	266		二畝		白		
32	267			育英館	白		地図に記載無し
32	268	蓮池			青		
32	269			荒神社			荒人社
32	270			一里塚			
32	271				茶		
32	272				茶		
32	273		三反四畝廿七歩	心光寺	白		
32	273-2			翁塚	白		

須佐市中細見図876-2(本町・河原丁・横屋丁)

ブロックNo	no,	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
13	340				白	井戸	記載されていない?
13	341		五畝	松原茂一郎	白		
13	342		三畝	松原茂一郎	白		
13	343		一反四畝八歩	内藤与右衛門	白		
13	344		一反一畝廿四歩	波田温人	白		一反一畝二四歩
13	345		三畝廿歩	石田傳平	白		三畝二四歩
13	346		四畝十三歩	田村順右衛門	白		
13	347		二畝廿六歩	原井良助	白		
13	381		二畝廿四歩	松永仁祇	白		
13	382		四畝廿歩	増野正蔵	白		

ブロックNo	no,	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
13	383		一反九畝九歩	大谷利兵衛	白		
13	384		八畝	大谷岩尾	白		
13	385		二畝十歩	大谷岩尾	白		
13	386		三畝八歩		白		
13	387		二畝廿一步	御台所 左衛門	白		六右衛門力
13	388		二畝五歩	大谷岩尾	白		
13	389				白		
13	406			八幡宮	白		
14	300		七畝六歩	安富三祐	白		
14	301		三畝	戎	白		戒定院
14	302		三畝七歩	市丸与直左衛門	白		市丸組
14	303		二畝十八歩	田原弥左衛門	白		
14	304		二畝十七歩	長谷川茂兵衛	白		
14	305		三畝十五歩	棕清五郎	白		
14	306		三畝廿六歩	石川与三兵衛	白		
14	307		三畝廿七歩	今藤惣兵衛	白		
14	308		三畝十九歩	松井九郎右衛門	白		
14	309		三畝十八歩	吉右衛門	白		
14	310		三畝四歩	種右衛門	白		
14	311		三畝六歩	田原治左衛門	白		
14	312				白		
15	274		七畝三歩	増野忠蔵	白	南、川の下	
15	275			増野忠蔵	白	道を挟み	
15	276		二畝廿歩	内田安右衛門	白		内田安左衛門
15	277		二畝廿歩	藤井二郎	白		藤井甚兵衛力
15	278		五畝十歩	瀬尻与孫左衛門	白		瀬尻組
15	279		五畝廿歩	宇谷与宇之助	白		宇谷組
15	280		八畝十歩	松野周助	白		
15	281		八畝	仁保平八	白		
15	282		七畝	宅野 右衛門	白		宅野豪右衛門
16	390		一反一歩	多根好人	白		
16	391		一反一歩	品川友哲	白		
17	348		三畝三歩	田村豊	白		
17	349		二畝十八歩	鳥追屋敷	白	力	
17	350		二畝廿歩	品川 吾	白		二畝六歩 品川繁吾力
17	351		二畝八歩	田村豊	白		
17	352		三畝八歩	進藤改之進	白	力	
18	313		二畝廿六歩	岩本惣左衛門	白		
18	314		五畝廿歩	田村豊	白	力	
18	315		二畝十八歩	田村豊	白	力	
18	316		四畝十五歩	岩本平太	白		
19	392		二畝廿八歩	下瀬兵右衛門	白		
19	393		三畝八歩	仲井半四郎	白		
19	394		三畝十三歩	松原 兵衛	白		松原勘兵衛力
19	395		七畝廿歩	仲井半四郎	白		
19	396		五畝廿四歩	俣賀又助	白		
19	397		二畝廿六歩	大谷源内	白		
19	398		五畝	大塚小三郎	白		
20	353		二畝廿歩	八十吉	白		二畝九歩
20	354		二畝廿五歩	藤助	白		藤吉
20	355		二畝十八歩	宮内治兵衛	白		
20	356		三畝廿八歩	須山与兵衛	白		
20	357		二畝廿歩	仲井半四郎	白		
20	358		三畝八歩	大谷 蔵	白		大谷菊蔵力(用蔵?)
20	359		二畝廿八歩	三右衛門	白		三左衛門
20	360		二畝廿五歩	三宅久兵衛	白		
20	361		四畝	宮内傳五右衛門	白		
21	317		三畝十五歩	常右衛門	白		
21	318		二畝十歩	弥左衛門	白		源左衛門
21	319		三畝三歩	正左衛門	白		
21	320		六畝	竹中金右衛門	白		
21	321		七畝	酒場	白		
21	322		五畝十六歩	目代屋敷	白		
21	323			札場	白		
21	324		三畝	仁保	白		仁保宗兼力
22	283		八畝五歩	中村次郎兵衛	白		
22	284		三畝廿三歩	岩本久右衛門	白		三畝廿二歩
22	285		三畝廿二歩	横山 江	白		横山瀧江
22	286		四畝廿六歩	大庭仲右衛門	白		大庭仲左衛門力
22	287		三畝七歩	山中悟入	白		

ブロックNo	no,	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
22	288		三畝六歩	大 小兵衛	白		大草小兵衛
22	289		三畝六歩	須佐地与弥左衛門	白		須佐地組
22	290		三畝	瀬尻与 左衛門	白		瀬尻組義左衛門カ
22	291		三畝	松原仁蔵	白		
22	292		三畝	宇谷与弥右衛門	白		宇谷組弥左衛門カ
22	293		二畝廿九歩	瀬尻与千松	白		瀬尻組
22	294		七畝十六歩	荻野行衛	白		荻野行蔵
23	362		三畝十五歩	須山与兵衛	白		
23	363		一畝廿二歩	甚右衛門	白		
23	364		二畝六歩	馬 屋敷	白	馬追カ	
23	365		三畝八歩	堀林右衛門	白		
23	366		三畝廿七歩	須子道右衛門	白	カ	
23	367		三畝廿七歩	松原庸節	白	カ	
23	368		二畝十七歩	堀七兵衛	白		堀七蔵
23	369		三畝十一歩	堀七兵衛	白		堀七蔵
23	370		二畝六歩	藤蔵	白		
23	371		四畝廿二歩	松野重内	白		
23	399		一反二畝廿九歩	益田勘兵衛	白		一反六畝廿九歩
23	400		五畝廿一步	松原八郎右衛門	白		
23	401		一反二畝十九歩	大田丹宮	白		
24	325		二畝廿五歩	福右衛門	白		
24	326		二畝廿二歩	小川繁左衛門	白		
24	327		二畝廿二歩	宮内傳五右衛門	白		
24	328		二畝廿四歩	御馬屋	白		御馬屋龍平
24	329		二畝廿六歩	清左衛門	白		
24	330		三畝五歩	堀七兵衛	白		堀七蔵
25	331		二畝廿四歩	須子弥左衛門	白		
25	332		二畝廿四歩	大庭三左衛門	白		
25	333		三畝五歩	大庭三左衛門	白		
25	334		三畝廿六歩	堀平右衛門	白	カ	堀半左衛門
26	295		三畝廿二歩	須佐地与弥右衛門	白		須佐地組
26	296		五畝十一歩	松井平助	白		五畝十六歩 荻野行蔵
27	297		三畝十歩	品川由衛	白		
27	298		三畝十二歩	市丸与こん右衛門	白		市丸組
27	299		四畝十九歩	松原仁蔵	白	カ	
28	372		二畝	益田三郎左衛門	白		三左衛門と誤記されている
28	373		廿歩	清三郎	白		
28	374		一畝十歩	利兵衛	白		利蔵
28	375		一畝廿九歩	松原鉄之介	白		
28	376		二畝十歩	堀助四郎	白		堀助三郎
28	377		四畝廿一步	益田丹下	白		
28	378		一反五畝五歩	益田丹下	白		
28	379				白		
28	380		五畝八歩	有福吉五郎	白		
28	402		一反三畝四歩	益田三郎左衛門	白		
28	403		一反六畝十歩	松原鉄之助	白		
28	404		四畝廿歩	堀助四郎	白		
28	405				白		
29	335		四畝十三歩		白		
29	336		三畝十二歩	中尾勘右衛門	白		中尾勘左衛門
29	337		二畝十七歩	近藤勘作	白		
29	338		三畝十三歩	堀平七	白		
29	339		二畝十歩	益田丹下	白		

須佐市中細見図877(本町・山根丁東)

ブロックNo	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
13	407	畠	五畝廿歩	郷分寺付	白	南、川の下	
13	408				白		
13	409		一反八畝十八歩	大蘊寺	白	大蘊寺	
28	440		四畝十六歩	窪田四兵衛	白		
28	441	田	三畝十八歩	窪田四兵衛	白		
28	442	田	三畝十四歩		白		
28	443		八畝廿七歩	俣賀次郎右衛門	白		七畝廿七歩
28	445		五畝廿七歩	松野重内	白		
28	446	田	二畝	松野重内	白		
28	447		四畝	金山慎吾	白		
28	448	田	二畝十歩	金山慎吾	白		
28	449		九畝廿四歩	松本良左衛門	白		
28	450	畠	七畝五歩	松本良左衛門	茶		
36	451	畠			茶		
36	451-2			社			
37	410		六畝三歩	宇谷与 之助	白		宇谷組 弥之助力
37	411		五畝	松原二郎右衛門	白	カ	松原四郎右衛門
37	412		四畝廿六歩	仲井速水	白		
37	413		四畝七歩	大谷要太郎	白		
37	414				白		
37	415	畠成田	四畝十八歩	大谷要太郎	白		
37	416		六畝十一歩	山下甚且	白		
37	417	畠成田	一畝五歩	山下甚且	白	カ	
37	418		四畝四歩	大谷小源治	白		
37	419				白		
37	420	田	一反一畝廿二歩	大谷小源治	白		
37	421		六畝二歩	山崎十郎右衛門	白		
37	422	田	八畝廿八歩	山崎十郎右衛門	白		
37	423		二反一畝廿四歩	松原惣右衛門	白		
37	424	畠成田	六畝十四歩	松原惣右衛門	白		
37	425			松原惣右衛門	白		
37	426			松原惣右衛門	白		
37	427	田	三畝	城一隼雄	白		
37	428	田	三畝廿九歩	城一隼雄	白		
37	429	田	一反三畝四歩	城一隼雄	白		
37	430	田	一反二畝九歩	入江 濟	白		
37	431			入江 濟	白		
37	432	畠	一畝	入江 濟	茶		
37	433		七畝	入江 濟	白		
37	434	畠	廿歩	入江 濟	白		
37	435		四畝廿五歩	増野太兵衛	白		
37	436	田	一畝十五歩	増野太兵衛	白		
37	437		一反五畝廿一步	栗山平左衛門	白		栗山半左衛門
37	438	田	二畝十五歩	栗山平左衛門	白		栗山半左衛門
37	439		四畝一歩	戸倉三郎兵衛	白		
40	452	田	一反二畝廿三歩	石津傳右衛門	白		一反二畝廿四歩
40	453	畠	廿五歩	石津傳右衛門	白		

須佐市中細見図79(横屋丁・中津)

ブロックNo	no,	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
33	454		一反三畝十歩	増野藤右衛門	白	西、川の上	
33	455		一反四畝十歩	吉賀直人	白	カ	
33	456		九畝十六歩	増野民之丞	白	カ	九畝六歩
33	457		八畝十二歩	金子丹治	白		
33	458		三畝	山科文圭	白		
33	459		四畝十六歩	増野文左衛門	白		四畝十八歩
33	460		七畝十五歩	小国彦兵衛	白		小国彦蔵
33	461		一反三畝五歩	本尾官治	白		
33	462		五畝十歩	本尾官治	白		
33	463	田	二畝廿九歩	本尾官治	白		
33	464		七畝廿九歩	小原勘右衛門	白		
33	465	田	一畝九歩	小原勘右衛門	白		
33	466				白		
33	477		五畝三歩	増野松之進	白		
33	478		五畝十五歩	真鍋清八	白		五畝十三歩
33	479		四畝五歩	来栖順助	白		
33	480		四畝	増野弥一郎	白		
33	481		五畝九歩	増野弥一郎	白		
33	482		十一歩	澄川米助	白		
33	483		二畝二歩	澄川米助	白		
33	484		二畝廿二歩	澄川米助	白		
33	485		三畝十三歩	品川乙右衛門	白		品川乙左衛門
33	486		一畝十九歩	兵衛	白		吉田兵蔵カ
33	487		二畝三歩	松永仁	白		松永仁祇
33	488		一反二畝十一歩	宅野傳八郎	白		
33	492	田	六畝八歩	増野松之進	白		
33	493	田	二畝廿七歩半	内田安左衛門	白		
33	494	田	二畝廿七歩半	市丸与善右衛門	白		
33	495	田	三畝一歩	来栖順助	白		
33	496	田	二畝十九歩	吉田三槌	白		
33	497	田	四畝四歩	増野弥一郎	白		
33	498	田	一畝廿七歩	市六兵衛	白	市山八兵衛カ	市山八蔵
33	499	田	一畝廿二歩	松永仁	白		松永仁祇
33	500			松永右門	白		
33	501	田	二畝廿八歩	松永右門	白		
33	502	田	一畝廿八歩	大崎千吉	白		
33	503	田	一畝廿八歩	屋小兵衛	白	筑前屋カ	陸前屋小兵衛カ
33	504	田	三畝	御茶屋附	白		
33	505	田	七畝十五歩	山根弥惣	白		
34	467	田	七畝十四歩	小原長屋亀蔵	緑	カ	
34	468	田	六畝七歩	増野民之丞	緑		
34	469	田	五畝五歩	小原長屋亀蔵	緑	カ	
34	470				緑		
34	470-2				緑		
34	471				緑		
34	472			増野民之丞	茶		
34	473	畠	五畝十二歩	増野民之丞	白		
34	474		一反	吉祥寺	白		
34	475			吉祥寺	白		
34	476	畠		大田丹宮	白		
38	506		五反一畝十二歩		白	御裏門	
38	507			御船倉	白		
38	508		一反十八歩	御茶屋、御茶屋床	白		御茶屋放(離れ)カ
38	509			稻荷社	灰	社、鳥居	
38	510				灰		焰硝蔵
38	511			要害	灰		
38	512		一反一畝廿四歩	潮音庵	白		潮音番
38	513			御塔	白		
38	514			荒神社	白		
39	489	門	一反六畝廿五歩		白	左右	
39	490	田	一畝十八歩	増野文左衛門	白		
39	491	田	一畝十八歩	増野文左衛門	白		

須佐市中細見図79-2(中津・浦西)

ブロックNo	no,	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
28	515		六畝廿六歩	増野藤右衛門	白	西、川の下	
28	516		一畝廿七歩	本田与左衛門	白		大井田与左衛門
28	517	田	二畝八歩	田村 庵	白		田村塊庵力
28	518	田	二畝十歩	益田丹下	白		
28	519	田	一畝六歩	小国彦兵衛	白		二畝六歩小国彦蔵
28	520	畠	五歩	小国彦兵衛	白		小国彦蔵
28	521	田	二畝	大谷平左衛門	白		四畝大谷平右衛門力
28	522	畠	六歩	田村 庵	白		田村塊庵力
28	523	田	二畝四歩	宅野傳八郎	白		宅野傳太郎力
28	524	畠	七歩	宅野傳八郎	白		宅野傳太郎力
28	525	田	一畝	内田屯助	白	亀助カ	内田亀助
28	526	田	歩	松永右門	白		一歩
28	527	田	二畝	宮内嘉平太	白	カ	宮内幸太
28	528	田	二畝	御馬屋市左衛門	白		
28	528-2		二十九歩	御馬屋市左衛門	白		
28	529	田	一畝廿一步	野上彦左衛門	白		一畝廿歩
28	530	田	一畝十二歩	野上彦左衛門	白		
28	531	田	二畝十四歩		白		
28	532	田	一畝十四歩	大庭助左衛門	白		
28	533		一畝十八歩	吉武次右衛門	白		
28	534	畠	十二歩		白		
28	535	畠	十三歩		白		
28	536			籠床	白		籠床(籠床の誤記カ)
28	537		廿一步	宮内嘉平太	白		
28	538		十三歩	御鍛冶床	白		
28	539	田	四畝十一歩	城一喜三右衛門	緑	左衛門カ	
28	540	田			緑		
28	541	田			緑		
28	542		一畝十四歩	大谷丈介	白		近藤版の書き落とし
28	543				白		
28	544		十歩	大谷丈介	白		近藤版の書き落とし
28	545				白		
28	546	田			緑		
28	547				白		
28	548			宮内嘉平太	白		
28	549				白		
35	550		廿二歩	吉田長兵衛	白	西、川の上	
35	551		一畝十二歩	大崎千吉	白		
35	552			中村太兵衛	白		
35	553		五畝廿一步	下ノ酒場	白		
35	554		三畝廿六歩	中ノ酒場	白		
35	555		二畝四歩	十五郎	白		
35	556		三畝十七歩	上ノ酒場	白		
35	557		一畝十九歩	治右衛門	白		
35	558		五畝二歩	松永	白		
35	559		二畝廿八歩	松永仁祇	白		
35	560		二畝十八歩	田村 庵	白	田村宅庵カ	田村塊庵力
35	561		一畝七歩	田村 庵	白	田村宅庵カ	田村塊庵力
35	562		廿三歩	忠右衛門	白		忠左衛門
35	563		十八歩	長左衛門	白		長右衛門
35	564		十八歩	八左衛門	白		八右衛門
35	565				白		
50	566		一畝五歩	大谷丈右衛門	白	浦西	
50	567		一畝十六歩	大賀喜左衛門	白		大カ喜左衛門
50	568		廿九歩	長吉	白		
50	569		十三歩	万吉	白		
50	570		十二歩	彦之	白		彦
50	571			おさき	朱		
50	572			七五郎	朱		
50	573			長 一	朱	長兵衛カ	長二カ
50	574		二畝十七歩	大賀 蔵	白	謙蔵カ	大賀兼蔵
50	575		廿四歩	大賀 蔵	白	謙蔵カ	大賀源蔵
50	576		八畝	乙松	白	一畝カ	
50	577		十七歩	五右衛門	白		
50	578		廿一步	虎蔵	白		
50	579		十八歩	弥兵衛	白		
50	580		廿歩	橋本	白		橋本隆兵衛力
50	581		十三歩	万之介	白		
50	582		廿一步	七	白		七ノ進力



ブロックNo	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
52	583		五歩	地藏	白	現存	
52	584		十八歩	作右衛門	白		作左衛門
52	585		十六歩	芝田八郎右衛門	白		
52	586		十四歩	忠蔵	朱	朱引屋敷之分	
52	587		十四歩	兼吉	朱	文政四巳年	
52	588		十六歩	末松	朱	七月大洪水之	
52	589		廿歩	源右衛門	朱	節流失	源左衛門
52	590		十三歩	五	朱	市五郎カ	市五郎
52	591		十三歩	介	朱	仲介カ	耕介
52	592		十六歩	与一左衛門	朱		
49	593		二畝十三歩	大賀傳兵衛	白		
49	594				白		
49	595				白		
49	596		十五歩	直右衛門	白		直左衛門
49	597		二畝十三歩	内田栄助	白		
49	598		十二歩	孫左衛門	白		十一歩
49	599		十歩	儀介	白		
49	600			札八	白	札場	
49	601			大谷丈介カ工	白		
49	602		十四歩	久原林左衛門	白		
49	603		十二歩		白		
49	603-2		十三歩		白		久原林左衛門
49	604		廿一歩	久原林左衛門	白		空白
49	605		一畝二歩	佑右衛門	白	佑右衛門カ	
51	606		十九歩	五郎右衛門	白		五郎兵衛
51	607			正左衛門	白		
51	608		廿二歩	嘉右衛門	白		
51	609		十六歩	勘左衛門	白		
51	610		十九歩	庄屋中	白		
51	611		一畝十三歩	竹五郎	白		
51	612		十三歩	嘉四郎	白		
51	613		十三歩	弥兵衛	白		
53	614		廿二歩	田村市郎	白	市郎右衛門カ	田村市左衛門
53	615		廿三歩		白		
53	616		十五歩	利兵へ	白	利兵衛カ	
53	617				白		
53	618				白		
53	619		十五歩	梅松	白		
53	620		一畝	大谷丈右衛門	白		壹畝
53	621			蔵	白	亀蔵カ	亀蔵
53	622		二十四歩		白		
53	623		十五歩	長松	白		
53	624		十九歩	利吉	白		
53	625		十五歩	権蔵	白		
53	626		十九歩	五郎	白	松五郎カ	松五郎
53	627		一畝廿八歩	吉田武兵衛	白		
53	628		十九歩	松五郎	白		
53	629		廿歩	好蔵	白		
53	630		廿歩	幸四郎	白	カ	
53	631		一畝二歩	市左衛門	白		
53	632		十二歩	三左衛門	白		
53	633		十五歩	彦左衛門	白		彦右衛門
53	634		二畝	堀佐右衛門カ工	白	カ	
53	635		十五歩	傳次郎	白		
53	636		廿四歩	芝田八郎右衛門	白		
53	637				白		
53	638				白		
53	639				白		
53	640		一畝廿歩	惣右衛門	白		
53	640-2			御用蔵	白		近藤版では見当たらず



須佐市中細見図81(浦中・浦東・山根丁西)

ブロックNo	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
40	746		三畝十七歩	長谷川八左衛門	白		
40	747		三畝二歩	宮内市左衛門	白		
40	748		廿一步	市山八兵衛	白		
40	749		二畝十四歩	大庭助左衛門	白		
40	750		二畝五歩	下瀬福松	白		
40	751		二畝	吉武次右衛門	白		吉武次左衛門
40	752		二畝	大賀勇雄	白		
40	753		一反三畝十六歩	増野龜之助	白	山根丁西	
40	754		一反三畝十九歩	益田三之助	白		
40	755				白		
40	756		三畝	津田百合槌	白		
40	757		五畝廿歩	豊田昇	白		豊田昇堂
40	758		八畝十四歩	石津傳右衛門	白		
40	759	畠	一反四畝四歩	益田三之助	白		
40	760	畠	四畝十七歩	益田三之助	白		
42	722				青	堂	
42	723			恵美須	白	社、鳥居	恵比須
42	724		四畝廿七歩	此下十二屋敷津田 平抱之分暫時御借上ケ	青		此下十二屋敷津田潤平抱三介暫時御借上ケ
42	725			兼吉	白		近藤版の書き落とし
42	726			百合吉	白		近藤版の書き落とし
42	727	畠	二畝廿八歩	大賀傳兵衛	白		二畝二十八歩大ケ傳兵衛
42	728			宮	白	宮処カ	宮番
42	729			源右衛門	白		近藤版の書き落とし
42	730			木松	白		近藤版の書き落とし 末松カ
42	731			五郎	白		近藤版の書き落とし
42	732			長平	白		近藤版の書き落とし
42	733			利介	白		近藤版の書き落とし
42	734			市二郎	白	カ	近藤版の書き落とし
42	735				白		
42	736			代二郎	白		寺(喜)代二郎カ
42	737			六蔵	白		忠蔵
42	738				白		定
42	739		十一歩		白		十歩 院
42	740		十歩	熊二郎	白		豊五郎
42	741		十二歩	左衛門	白		十歩 幸左衛門
42	742		七歩	左衛門	白		十歩 与右衛門
42	743		六歩	介	白		早介
42	744		九歩	石田	白		
42	745				白	社、鳥居	
42	761	畠			茶		
42	761-2	瀨		横瀨	灰		
42	761-3	瀨		鵜ノ瀨	灰		
43	708		廿一步	七郎兵衛	白		
43	709		十五歩	茂右衛門	白		
43	710			大谷新左衛門	白		
43	711		十歩		白		十二歩大谷新左衛門
43	712		廿歩		白		五歩松本弥左衛門
43	713		廿一步		白		幸左衛門
43	714		十歩	大賀傳兵衛	白		
43	715		十一歩	永助	白		
43	716		十二歩	平蔵	白		
43	717		十七歩	堀七左衛門	白		
43	718			大庭助左衛門	白		
43	719		十三歩	勘右衛門	白		
43	720		十三歩	三次郎	白		
43	721		十三歩	七五郎	白		
44	695		一畝	佐右衛門	白		右衛門
44	696			大賀 衛門	白		六歩大賀信右衛門
44	697		廿七歩	衛門	白		惣左衛門カ
44	698		廿二歩	千	白		廿三歩
44	699		廿二歩	勘右衛門	白	カ	廿三歩初右衛門
44	700		廿二歩	久左衛門	白		廿三歩
44	700-2				白		
44	701			三槌	白		
44	702				白		
44	703		一畝	大賀勇雄	白		大八勇雄
44	704		一畝	大賀儀左衛門	白		大八儀左衛門
44	705		十歩		白		
44	706			御用蔵	白		
44	707		廿歩	堀福左衛門	白		
45	681		廿歩	衛門	白		内左衛門
45	682		歩		白		廿二歩三左衛門

ブロックNo	no.	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
45	683		歩		白		三左衛門
45	684		廿歩	井上 右衛門	白		井上九郎右衛門カ
45	685		一畝	忠五郎	白		
45	686		十一歩	善左衛門	白	カ	左衛門
45	687		十九歩		白		五郎吉
45	688		十四歩		白		岩蔵
45	689		一畝 歩		白		一畝五歩 五左衛門
45	690		一畝二歩	蔵	白		福蔵
45	691		一畝二歩	五左衛門	白	一畝二歩カ	常左衛門
45	692		歩		白		廿六歩 嘉彦
45	693		廿七歩	三左衛門	白		
46	648		一畝五歩	秋山善左衛門分豊田 治	白		
46	649		十九歩	大谷平左衛門	白		
47	650		二畝一歩	橋本儀左衛門	白		
47	651		一畝五歩	大谷丈右衛門カ工	白		
47	652			傳吉	白		
47	653		二十八歩	橋本	白		
47	654		十九歩	松左衛門	白		
47	655		十九歩	大賀喜右衛門	白	カ	大場喜右衛門
47	656		十九歩	大庭助左衛門	白	カ	大八助左衛門
47	657		九歩	儀左衛門	白	カ	六歩
47	658		十四歩	政蔵	白		
47	659		十五歩	青二右衛門	白	カ	青二郎
47	660		十四歩	太郎右衛門	白		六郎右衛門
47	661		十三歩	岩蔵	白		
47	662		十三歩	佐左衛門	白		
47	663				白		
47	664		廿歩	左衛門	白	佐左衛門カ	九左衛門
47	665		廿歩	宇右衛門	白		宇左衛門
47	666		廿一歩	吉田 蔵	白		吉田伍蔵
47	667		十一歩	亀蔵	白		
47	668		十八歩	市左衛門	白	市右衛門カ	
47	669		十一歩	吉田六右衛門	白		吉田九右衛門
47	670		一畝十四歩	大谷 左衛門	白		大谷忠左衛門
47	671		九歩	橋本儀左衛門	白		
47	672		十五歩	与平	白		
47	673		六歩	吉	白	亀吉カ	勇吉
47	674		六歩	内本五助	白		内田亀助
47	675		廿二歩	忠五郎	白		
47	676			御	白		御武具カ
47	677		十歩	大谷 右衛門	白		橋本源
47	678		十一歩	橋本	白		大谷道助
47	679		十四歩	長二郎	白		長次郎
47	680		十二歩	五左衛門	白		
48	641		一畝十二歩	吉田 蔵	白	浦中	吉田徳蔵
48	642		二畝十二歩	大谷丈右衛門カ工	白		
48	643		十五歩	橋本治兵衛	白		
48	644		十四歩	源次郎	白		
48	645		二畝七歩	大賀吉介	白	一畝	大力吉介
48	646		一畝廿歩	秋山八	白	八蔵カ	秋山八左衛門
48	647		十三歩	野上八郎右衛門	白		野上八郎左衛門
	694		廿五歩	善左衛門	白	カ	
	694-2				白		
	694-3			二郎	白		

### 須佐市中細見図84(水海)

ブロックNo	no,	地目	面積	名称	色彩	備考	近藤版読解
40	762		七畝	仁保嘉内	白		
40	763	畠	十四歩	石津傳右衛門	白		
40	764	畠			茶		
40	765				白		
40	766				白		
40	767				白		
41	768		二畝十三歩	尾木	白		
41	769		二畝	横田卯之助	白		
41	770		二畝	御馬屋新助	白		
41	771				白	堂、鳥居	
41	772			権現社	白	社	
41	773	畠			茶		
41	774	畠	三畝	大野	白		
41	775				白		
41	776				白		
41	777				白		
41	778	畠			茶		
41	779	畠	一畝	大野	白	カ	地図の外
41	780	畠	二畝	大工八左衛門	白		地図の外
41	781	畠			白		地図の外
41	782	畠			白		地図の外
41	783	畠	三畝七歩	石津傳右衛門	白		地図の外